

**単元名 5 筋道を立てて ー漢字に親しもう3**
**配当時間 1時間**

**単元の目標** (1) 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。  
 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、  
 文や文章の中に使うことができる。  
 (3) 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

**標準的な展開例**

10210210\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 練習問題に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 漢字を使いこなそう。  ○ 新出漢字の確認をする。 ○ 練習問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時は、小学校6年生で習った漢字を中心に練習問題に取り組んでいくことを伝える。</li> <li>・ 言葉の意味が分からないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。</li> <li>・ 「小学校六年生で学習した漢字」(p.255)に合わせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。</li> </ul> <b>【評】</b> 練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

**【 備 考 】**

論理的な表現は、展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり、書いたりする場合はもちろんのこと、話し合う際にも、議論の中心となる論点を明確に捉えておくことは大切である。論点が明確でないと理解する場合も表現する場合もすれ違いが生じ、考えを深めることができなくなる。ここでは、論点を明確にすることを通して、読んだり書いたり話し合ったりしながら、考えを深めていく学習をする。